

平成24年度 魚沼市理科部 活動報告

小出小学校 佐藤 吉宏

1 活動計画

- 部会 期日：4月18日（水）活動計画づくり
- 研修会① 期日：8月 9日（木）小学校教育課程研究集会伝達講習会
- 研修会② 夏季休業中 研修場所：浅草岳エコミュージアム付近での観察会
- 研修会③ 10月頃 教育課程研究集会を受けて授業研究会の実施
※今年度は、実際の授業を通して指導の改善について研修する場を計画し、授業実践力の向上を図る。

2 活動の実際

- 研修会① 実施日：8月9日（木） 研修会場：小出小学校会議室
教育課程伝達講習と情報交換 伝達者；井口小学校 石井達也教諭
 - ・言語化する際に視点を示すことの有効性について具体例をもとに検討した。また、教材についても正しい測定結果になるよう、数々の工夫が紹介された。
 - ・日々の授業での悩みや教材準備・提示の工夫について情報交換を行った。

- 研修会② 自然観察会
実施日：8月17日（金）
研修会場：浅草岳エコミュージアムの周辺
 - ・エコミュージアム職員のガイドによる植物や動物の痕跡等の観察を実施した。遊歩道沿いにブナやナラ等の樹木を中心にゆったり観察できた。



- 研修会③ 理科授業研修会
実施日：11月19日（月）
研修会場：魚沼市立小出小学校
単元 3年「ゴムのはたらき」 授業者 小出小学校 米山智教諭



前時の実験結果を教材化し、児童にゴムのはたらきについて考えを交流させる言語活動を行った。児童は実験結果に自分の体感を言語化して加え発表していた。単元では言語活動に合わせて発表話形の指導を行うことで発表への抵抗感を少なくし、意見交流が活発になるよう工夫されていた。

左の写真は、授業の意見交流で出された考えを実験で確かめる様子である。再度実験することで、思考の共有化が図られていた。

3 成果と課題

(1) 成果

- 自然観察会では魚沼の豊かな自然のすばらしさを再認識することができた。
- 毎年度課題になっていた授業研修会を実施できた。授業協議会では、夏季研修会での学習を生かし、「教え、考えさせる」「習得・活用・探求」「言語活動の充実」という新学習指導要領が求める授業改善の視点を踏まえ、ゴムの力を利用して走らせる車の実験のあり方を子どもの姿から具体的に検討することができた。

(2) 課題

- 思考力を高めるために、教材の自作化も含めた指導過程の工夫を実際の授業で更に検討し、改善の視点や具体的な手立てについて研修を深める。